

## 平成21年度定例第5回理事会次第

期 日 平成22年3月27日(土) 10:00~

場 所 敷島公園陸上競技場会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 出席確認 理事総数57名 出席40名、委任12名 計52名

4 議長選出

5 報告事項

### (1) 日本陸連・関東陸協関係

日本陸連

ミスノトラッククラブ 菅井選手 B強化指定

日本陸連 公益法人

寄付行為規則 定款

選手(ヤマダ電機) 世界クロカン出場

関東陸協

### (2) 各委員会報告事項

総務委員会

平成21年度陸上競技年鑑

財務委員会

ニューイヤ―駅伝報告

競技委員会

S級審判員

不正スタート1回による失格 陸連主催大会で実施(2012年度まで)

2013年度から主催共催の大会全てにおいて適用される

800m以上のスタンディングの競技は目視による判定だが1回で失格

不正スタートとは別にスタートの遅延は不正行為としてフライングと別に扱う

同じ種目は同じスターターが行う

光波測定を使う場合

混成種目の風力に関する条件「個々の種目で4mを超えない」が削除

助力：器具(砲丸・円盤・グローブ)に滑り止めをつけることが許可された

電気計時のみ公認の種目が追加された

・平成22年度審判講習会について

強化委員会

・平成22年度強化指定選手について 後日各クラブへ連絡

普及委員会

・日本陸連キッズキャラバンについて

イベントプロジェクト(2007年~)平成22年度は群馬(6月)

・公認指導員・研修会参加指導者がコーチ 2名いないと参加できない

(3) 全日本実業団駅伝競走大会について

視聴率下降気味ではあるが、レース自体はよかった  
沿道の声援も盛り上がり、依然として注目度はある

(4) 群馬県100Km駅伝競走大会について

1月30日：14チーム

一斉繰り上げによりデッドヒートが見られ盛り上がった

福島でも同様のイベントがあり長距離の普及・強化に有効 参考になる

(5) 中体連・高体連

中体連

高体連

県高校駅伝のコース変更検討(周回5.2kmに縮小)

(6) その他

・群馬総合ガード 川端選手 前橋に競技生活の拠点を置く

・事務局より

審判員個人カードについて

登録

ルールブックの発注について

6 協議事項

第1号 平成22年度行事日程(競技日程)について 承認

(12月理事会で承認済み)会場・日程の小変更を要確認

第2号 平成22年度予算案について 承認

収入：事業費減(10月のGPが陸連公認でなくなるため)

第3号 冬季審判員ウェアについて

来年以降のウェアについて継続審議

実業団駅伝 500名 常時出ている審判員 200名

ニューイヤーと他のロードレースを分けて考える

冬期審判ウェアとして質の高い物を用意する

他のロードレースは一切考慮せずニューイヤーだけ準備する

メーカーとしては6月あたりに注文できればきちんとしたウェアが作れる

案を進める

第4号 その他

ロード選手権 参加料2500円 2800円に上げたい

多野クラブを解消し高崎市陸協に

高崎市陸協は来年度80周年

7 閉 会